

【科目名】運動器疾患理学療法学		【担当教員】高橋洋／粟生田博子
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0620-0-1	(メールアドレス) 【高橋】 hiroshit@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 3 年次前期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー) 【高橋】月火木金 8:00～17:30
【単位数】2	【コマ数】15	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・実技を行う時は、動きやすい服装で参加すること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・解剖学、生理学、整形外科学、病理学、組織学、心理学等の復習を行うこと。		
【講義概要】 (目的) 【高橋】肩甲帯・肩関連疾患、高齢者の下肢障害、変形性股関節症、変形性膝関節症の病態、評価、理学療法について講義する。 【粟生田】主に上肢（肘関節以遠）、下肢（下腿、足関節、足部）の運動器疾患に関する病態と、理学療法評価・治療を関連づける。 (方法) ・配付資料を使用し、講義する。必要に応じて実技を加える。		
【一般教育目標(GIO)】 ・整形疾患に関連した評価や理学療法を行うため、肩甲帯・肩関連疾患、高齢者の下肢障害、変形性股関節症、変形性膝関節症等運動器疾患の病態を理解し、理学療法と関連させることができる。 【行動目標(SBO)】 ・整形疾患の評価、理学療法を行うことができる。 ・身体各部位の構造や機能、心理社会的問題をもとに、運動器疾患の病態を記述・説明ができる。 ・疾患に適した理学療法評価を選択し、説明・実施ができる。 ・得られた評価結果から、理学療法プログラムを立案・作成し、記述・説明ができる。		
【教科書・リザーブドブック】 ・特に指定しない。		
【参考書】 ・講義の際に随時紹介する。		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法)		

平成 26～28 年度入学者用

- ・ 本学学則規程の GPA 制度に従う。
- ・ 学内規定に基づく出席回数，期末試験，レポート，成果発表により総合的に評価する。

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポー ト	成果発表	実技	ポートフ ォリオ	その他	合計 (点)
総合評価割合		60	0	30	10	0	0	0	100
評 価 指 標	取り込む力・知識	60							60
	思考・推論・創造の力			20					20
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力				5				5
	学修に取り組む姿勢			10	5				15

【授業日程と内容】			
回数	講義内容	授業運 営方法	学修課題(予習・復習) (分)
1	オリエンテーション 肩甲帯・肩関連疾患 (1~10 担当：高橋)	講義	(予習) 肩甲帯、肩関節の解剖を復習し ておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。 60 分
2	肩甲帯・肩関連疾患	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。 60 分
3	高齢者の下肢障害	講義	(予習) 股関節、膝関節の解剖を復習し ておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。 60 分
4	肩の検査、触診実技	講義、 実技	(予習) 肩・肩甲帯の筋力テストを復習 すること。 (復習) 実技内容をやってみること。 60 分
5	大腿骨骨折、マッスル セッティング	講義、 実技	(予習) 大腿骨の骨、筋の解剖を復習し ておくこと。 (復習) 実技内容をやってみること。 60 分
6	変形性股関節症	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。 60 分
7	変形性膝関節症	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。 60 分
8	LT 実技	講義、 実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問 点を明確にしておくこと。 60 分

平成 26～28 年度入学者用

			(復習)講義内容を理解、暗記すること。	
9	膝 OA、膝の痛み	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60 分
10	下肢計測	講義、 実技 演習	(予習) 関連する過去問をやっておくこと (復習) でできなかった過去問をやり直すこと	120 分
11	運動器疾患の理学療法 評価・治療 1 (11～15 担当: 栗生田)	講義、 演習	予習: 解剖学, 組織学, 整形外科学, 生理学, 心理学等の復習 復習: 講義・実技の内容	60 30
12	運動器疾患の理学療法 評価・治療 2	講義、 演習	予習: 解剖学, 組織学, 整形外科学, 生理学, 心理学等の復習 復習: 講義・実技の内容	60 30
13	運動器疾患の理学療法 評価・治療 3	講義、 演習	予習: 解剖学, 組織学, 整形外科学, 生理学, 心理学等の復習 復習: 講義・実技の内容	60 30
14	運動器疾患の理学療法 評価・治療 4	講義、 演習	予習: 解剖学, 組織学, 整形外科学, 生理学, 心理学等の復習 復習: 講義・実技の内容	60 30
15	まとめとフィードバック	講義、 演習	予習: 講義内容全般の振り返り 復習: 配布資料 (問題) をもとに実施	60 60

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。